

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-124	高等学校	公民科	政治・経済	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
35 清水	政経 704	高等学校 政治・経済		

1 編修の基本方針

本書は、教育基本法第2条に示された教育の目標を達成するため、平成30年3月に改訂された高等学校学習指導要領の趣旨に則り、また学校教育法の規定などをふまえて、以下の基本方針に基づき編修しました。

- ▶ 現代の政治・経済、現代社会の諸課題を取り上げながら、その考察の視点を学習のなかで見いだせるように配慮して構成しました。高校生として身に付けるべき道徳観や、社会において必要な標準的知識を網羅しました。全編にわたり、図やグラフを用いた解説、注などで多面的に記述し、生徒自らが考察を深められるように編修しました。
- ▶ 第1編では現代日本における政治・経済について、民主政治の基本原理や人権保障の考え方、現代の日本の政治制度、経済活動の基本原理、労働問題、雇用問題などの学習を通じて、職業と生活を関連付けながら、社会の構成員としての意識を育めるように記述しました。また、民主主義や基本的人権の発達のようすを系統的に記述し、そのなかで平等や公共の精神という概念などを認識できるよう留意しました。
- ▶ 第2編では現代の国際政治・経済について取り扱い、国際社会の基本的なルールや考え方、国際機関の成り立ちなどもきちんと記述しました。また、現実の国際社会のなかで、さまざまな課題がどのように解決され、国際間のルールなどがどのように実践されているのかにも触れています。
- ▶ 第1編第3章、第2編第3章では現代日本および国際社会の諸課題について、「多様な働き方」「安全・安心な社会」「技術革新」「地球環境」などのテーマを取り上げ、生命の尊重や環境保全の基本的な論点を見いだし、それをさらに深めていけるよう、記述内容を工夫しました。
- ▶ これまでの日本で育まれてきた文化と伝統、および今の日本で見られる文化の諸相をきちんと記述し、国際化の進む現代社会で、日本という国や郷土への愛情をもって学習を進められるよう配慮しました。また、国際平和や国際協力への寄与については、多面的に取り扱いました。

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1編 「現代日本の政治・経済」	<p>第1編は、「第1章 現代政治のしくみと日本」「第2章 現代経済のしくみと日本」「第3章 現代日本の諸課題」の3章で構成しました。</p> <p>中学校公民的分野の政治・経済の学習を踏まえ、さらに範囲と内容を深化させ、現代の日本の政治・経済の現実に迫れるようにしました。それぞれの項目において丁寧に記述・解説し、生徒のより深い理解と多角的な考察を促すことに意を用いました。</p> <p style="text-align: right;">(第1号)</p>	第1編すべて
第1編 第1章	<p>民主主義とその成立過程、日本国憲法の基本原理と国民生活とのかかわり、その解釈などについて事例を挙げながら、丁寧に解説しました。</p> <p>また、個人と社会とのかかわりなどにおける法意識、司法制度の在り方について理解を深めさせられるよう、生徒が主体的に考察できるように工夫して記述しました。</p> <p style="text-align: right;">(第2・3号)</p>	p. 9～12, p. 13～20, p. 27～32, p. 33～44, p. 71～76 など
	<p>日本国憲法にある平和主義の考え方や、国民生活を維持し、民主的に統治するためのしくみなどについて、その現状と課題を理解できるように記述しました。日本の政治機構と政治課題を詳細に記述し、現実の人権状況、主体的に社会（政治）参加することなどについても触れました。「SDGs（持続可能な開発目標）」で掲げられている目標も意識し、さまざまな角度から物事を捉える姿勢と、政治参加への積極的な姿勢を育むよう工夫を施しました。</p> <p style="text-align: right;">(第1・3号)</p>	p. 44～53, p. 54, p. 55～64, p. 65～70, p. 77～87 など
第1編 第2章	<p>経済活動の意義や経済のしくみなどの基礎的知識について、現代資本主義のしくみ、金融と財政のしくみと働きなどについて具体的事例を出しながらわかりやすく記述しました。</p> <p>基礎・基本を押さえて記述し、経済思想については、その歴史の変遷も丁寧に解説し、現代の経済社会における諸問題を幅広い視点から取り上げ、現代の日本社会における金融や財政、経済における政府の役割などを整理して記述しました。</p> <p style="text-align: right;">(第2・3号)</p>	p. 94～103, p. 104～107, p. 108～113, p. 117～129, など
	<p>日本経済の近現代における歴史を概観し、現代の日本社会における企業（中小企業など）のしくみや現実の社会のなかで起きている、労働・環境・農業・社会保障の問題点などを整理し、主体的に課題解決を考えるきっかけとなるよう、材料を提供しながら配慮して記述しました。生徒に経済のしくみや企業や労働問題などに関心をもたせることで、日常生活のなかで、職業と自分の生活を関連させて捉えられるように留意しました。</p> <p style="text-align: right;">(第2・4号)</p>	p. 130～137, p. 138～151, p. 152～157, p. 158～161, p. 162～163 など

<p>第1編 第3章</p>	<p>学習指導要領に則り、第1編「現代日本の政治・経済」のまとめと位置づけて構成しました。</p> <p>第1章、第2章で学んだ見方・考え方にもとづき、持続可能な社会の形成が求められる現代において、「地域社会の自立と中央政府の役割」「持続可能な社会保障制度の実現」「多様な働き方」「安全・安心な社会の実現」「歳入・歳出両面での財政健全化」の5つの課題を取り上げ、これら現代日本の諸課題について多面的・多角的に探求させ、解決していく方法を考察する力を身に付けていくことができるように留意しました。これらは網羅的に取り扱うのではなく、いくつかを選択して取り扱うことから、それぞれを主題学習として展開できるようにしました。また、日本の諸課題が、鮮明に浮かび上がるよう、見開き2ページでコンパクトにまとめて記述しました。</p> <p style="text-align: right;">(第1号)</p>	<p>第1編第3章 すべて</p>
<p>第2編 「現代の国際 政治・経済」</p>	<p>第2編は「現代の国際社会と政治」「現代の国際社会と経済」「国際社会の諸課題」の3章で構成しました。</p> <p>この編も、中学校公的分野の国際政治・経済の学習を踏まえ、さらに範囲と内容を深化させ、現代の国際政治・経済の現実に迫れるようにしました。それぞれの項目において丁寧に記述・解説し、生徒のより深い理解と多角的な考察を促すことに意を用いました。</p> <p style="text-align: right;">(第1号)</p>	<p>第2編すべて</p>
<p>第2編 第1章</p>	<p>国際社会が築いてきたルールや現在の国際社会の情勢についてまで、丁寧に記述し、さまざまな立場があるなかで、国際社会がどのように共存していくかを、政治・人権・平和などの視点から問いかけました。日本をとりまく安全保障の問題、現代の国際政治の特質や国際紛争の原因と現状を把握し、国際社会での日本の果たすべき役割を考察できるようにしました。</p> <p style="text-align: right;">(第4・5号)</p>	<p>p. 176～180, p. 181～186, p. 191～193, p. 195～201, p. 202～204 など</p>
<p>第2編 第2章</p>	<p>国際間における貿易の基本原理や世界経済の発展とグローバル化などについて、歴史的な経緯から現在も進行している国際経済の動きまで、丁寧に記述しています。今日の世界経済が抱えている問題を焦点化して取り上げ、持続可能な発展のための国際的取り組みを提起し、日本の国際貢献や国際協力などについても、紙面を尽くしました。</p> <p style="text-align: right;">(第3・5号)</p>	<p>p. 205～209, p. 210～214, p. 215～217, p. 218～227, p. 228～231</p>

<p>第2編 第3章</p>	<p>学習指導要領に則り、第2編「現代の国際政治・経済」のまとめと位置づけて構成しました。</p> <p>第1章、第2章で学んだ見方・考え方にもとづき、持続可能な社会の形成が求められる現代において、「グローバル化する世界のリスク」「難民問題の解決」「国際経済格差の是正」「技術革新による世界の変革」「地球環境を守る資源・エネルギー開発」の5つの課題を取り上げ、これら現代の国際社会における政治や経済の諸課題について多面的・多角的に探求させ、解決していく方法を考察する力を身に付けていくことができるように留意しました。これらは網羅的に取り扱うのではなく、いくつかを選択して取り扱うことから、それぞれを主題学習として展開できるようにしました。また、世界の諸課題が、鮮明に浮かび上がるよう、見開き2ページでコンパクトにまとめて記述しました。</p> <p style="text-align: right;">(第1号)</p>	<p>第2編第3章 すべて</p>
--------------------	---	-----------------------

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本書は、上記以外に、以下のような教育的な配慮をほどこしました。

- ▶ 本文の叙述に際しては、重要な語句にはゴシック体を用いて学習上の注意を喚起しました。また、本文の内容をさらに深めるために、注には見出し語をつけて明確にし、さらに判例などもはっきりと区別できるよう配置・デザインを工夫して多数取り上げました。これらは、生徒が興味・関心をもって学習を掘り下げられるよう配慮して記述しました。各節ごとに、何を中心に学ぶかの問いかけを示し、学習上の便宜を図りました。
- ▶ 写真・図版・グラフなどは四色刷として視覚的効果を高め、生徒の興味・関心や本文内容への理解を深められるようにひと目でわかるように配慮しました。
- ▶ 学習の利便性を考え、巻末には憲法や法律の条文を資料として用意しました。
- ▶ 日本や郷土の歴史と文化、伝統に対する生徒の親近感を強め、国際協調の精神を養う契機ともなることを期待して、前見返しには世界地図を掲げ、前見返しの裏には国内の世界遺産の位置や写真を明示しました。
- ▶ 国内および国際的な諸課題は、生徒の興味・関心を引きつけるよう幅広く設定しました。現代社会が抱える問題意識を、いろいろな視点から考えさせるよう配慮し、特に国際社会の一員としての立場については意識して記述しました。
- ▶ 学習の場面において、教科書の内容と関連した事項や資料などを、授業において有機的に活用できるよう便宜を図り、Web 参照資料を適切な場面において掲載しました。当該箇所には、二次元コードを示し、直接参照資料を活用できるよう用意しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
103-124	高等学校	公民科	政治・経済	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
35 清水	政経 704	高等学校 政治・経済		

1 編修上特に意を用いた点や特色

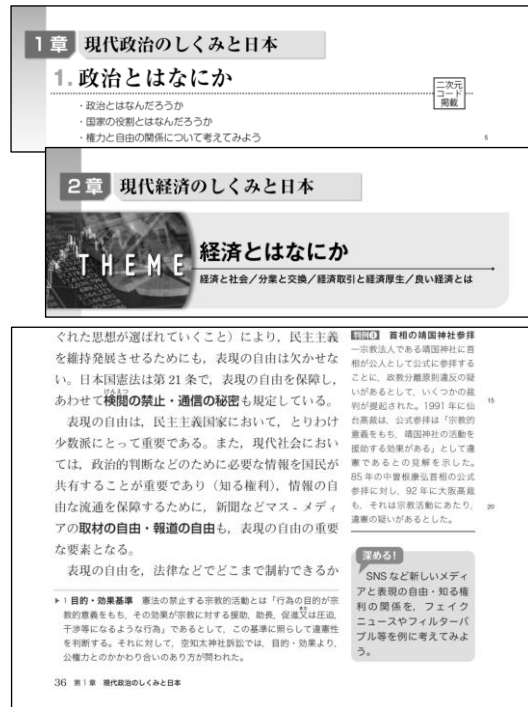
○基礎から応用まで幅広く対応できるページ構成

- ▶ 各編扉においては、各編の内容に関連した写真を複数掲載し、それらを読み取ることでこれから学ぶテーマの特色を予測し展望できるようにしています。
- ▶ 章の冒頭には「政治とはなにか」「経済とはなにか」といった各分野の土台となる内容を配置し、丁寧な説明を心がけました。生徒が基礎からしっかり学ぶことが可能な導入となっています。
- ▶ 全編を通して、本文の記述に力を入れ、生徒の理解を深められるよう配慮して解説しています。
- ▶ 本文では、重要な語句にはゴシック体を用いて学習上の注意を喚起しました。また、本文の内容を深めるために、注には見出し語をつけて明確にし、さらに判例などもはっきりと区別できるよう配置・デザインを工夫して多数取り上げ、学習を掘り下げられるよう配慮して記述しています。
- ▶ 各節の冒頭に、その節の学習の目当てとして問いかけを配置し、テーマの内容をできるだけ焦点化させる工夫をしました。また、学習を深める視点として適宜「深める！」を配置しました。

▼第1編 扉



▼6ページ, 92ページ



▲36ページ

第1編「現代日本の政治・経済」

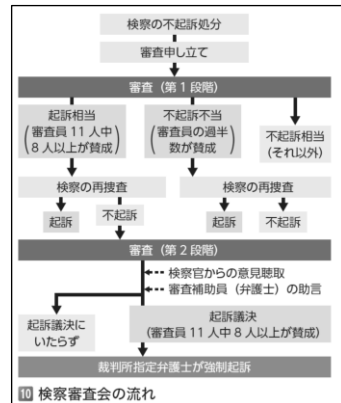
▶ 第1章「現代政治のしくみと日本」では、「政治とはなにか」「法とはなにか」「日本国憲法の成立と基本原理」「基本的人権と新しい人権」「平和主義と安全保障」「日本の政治機構」といった内容で構成しました。民主主義とその成立過程、日本国憲法の基本原理と国民生活とのかかわり、その解釈などについて事例を挙げながら、丁寧に解説しています。

生徒が本文を読み進めていくなかで、法学的視点を身につけることができるよう、本文に即したかたちで各所に判例情報を配置しました。個人と社会とのかかわりなどにおける法意識、司法制度などについて理解を深められるよう、生徒が主体的に考察できるような内容となっています。

▼目次 判例・事例

判例 事例			
①マクリーン事件	33	⑩朝日訴訟・堀木訴訟	43
②思想・良心の自由と企業に関する裁判	35	⑪教育を受ける権利と教育内容	44
③政教分離をめぐる裁判	36	⑫在外国民選挙権訴訟	45
④首相の靖国神社参拝	36	⑬「宴のあと」事件	46
⑤北方ジャーナル事件	37	⑭大阪空港公害訴訟	48
⑥ボボロ事件	37	⑮名古屋新幹線公害訴訟	48
⑦死刑囚の再審請求	39	⑯梶の浦景観訴訟	48
⑧死刑の合憲性	39	⑰ヘイトスピーチをめぐる裁判	53
⑨森林法事件	39	⑱自己決定権と医療行為	53
⑩薬事法違憲訴訟	39	⑳安楽死と尊厳死	53
⑪刑法尊属殺重罰規定	40	㉑自衛隊の合憲・違憲を争った裁判	58
⑫嫡出でない子の法定相続分差別訴訟	40	㉒砂川事件	58
⑬逸失利益の算定基準と男女平等	41	㉓苫米地訴訟	70
⑭女性差別をめぐる裁判	42	①浦和充子事件	71
⑮国籍法違憲訴訟	42	②平賀書簡事件	71

▼74ページ



▶ 第2章「現代経済のしくみと日本」では、「経済活動と経済主体」「物価とその変動」「金融のしくみとはたらき」「財政のしくみとはたらき」「日本経済のあゆみ」「社会保障制度の充実」といった内容で構成しました。経済活動の基本的概念や経済の主体やしくみなど基礎的知識について、具体的事例を出しながらわかりやすく記述しました。

3. 国民経済と景気変動

一国の経済規模をはかる指標にはどのようなものがあるか
 経済を成長させる要因にはどのようなものがあるか
 景気変動はなぜ起こるのか

1. 国内の生産と消費
 2. 国内の貯蓄と投資
 3. 国内の貿易と国際貿易

フローとストックの関係

一国経済の大きさを測る
 内に存在する間の工業生産なものがある引量を示すのれだけの蓄積である。た年の利益額は物の価値、借入金の残高などがストックとなる時点で存在する生産設備などのストックが生み出されていく。その利益の一部がすなわち、ストックが蓄積されていく。

解説 国民所得の相互関係と三面等値の原則

国内生産額	付加価値の合計		中間生産物
国内総生産 (GDP)	第1次産業生産額	第2次産業生産額	第3次産業生産額
国内総所得 (GDI)	企業所得	財産所得	政府所得
国内総支出 (GDE)	経常高外支	民間最終消費支出	政府最終消費支出
国民総所得 (GNI)	国民総生産 (NNP)	国民総生産 (NDP)	固定資本減耗
国民総所得 (NNI)	海外からの利益戻り	(市場価格表示)	(関係税・補助金)
国民所得 (NI)	(国家費用表示)		

GDPとは「一国内で生産された付加価値の合計」であるが、経済の実態を把握するためには、その内訳を見る必要がある。その内訳の分け方によってGDPの異なる側面が計測される。どのような財・サービスが生産されたかに注目した「生産面」、生産された価値が誰の所得となったかに注目した「分配面」、生産された価値がどのような目的に使われたかに注目した「支出面」の3つの見方が特に重要であり、GDPの三面とよばれる。分配面で見たGDPは国内総所得 (GDI)、支出面で見たGDPは国内総支出 (GDE) とよばれる。この3つの側面は、GDPを異なる内訳に分

▲ 108, 109ページ

経済分野は、生徒の理解に比較的時間がかかりやすいということを加味し、解説、資料、グラフや図版などを使いながらかみ砕いた説明や解説を心がけています。

▶ 第3章「現代日本の諸課題」は、学習指導要領に則り、第1編のまとめとして位置づけて構成しました。第1章、第2章で学んだ見方・考え方にもとづき、持続可能な社会の形成が求められる現代において、現代日本の諸課題について多面的・多角的に探求させ、解決していく方法を考察する力を身に付けていくことができるように留意しました。

- ▶ 「1. 地域社会の自立と中央政府の役割とはなにか？」では少子高齢化が進む現代日本における自治体のあり方についてさまざまな事例を提示し、「2. 持続可能な社会保障制度は実現できるか？」では社会保障制度の現状を把握したうえで今後について考察できるよう配慮しました。「3. 多様な働き方ができる社会はどのような社会か？」では働き方の変化、「4. 安全・安心な社会を実現するには？」では災害や事故など不測の事態にどのように備えるべきか、「5. 歳入・歳出両面での財政健全化とは？」では日本の財政について、グラフや写真も読み取りながら現状の課題と将来の展望について探究できるようバランスよく記述しました。

2. 持続可能な社会保障制度は実現できるか？

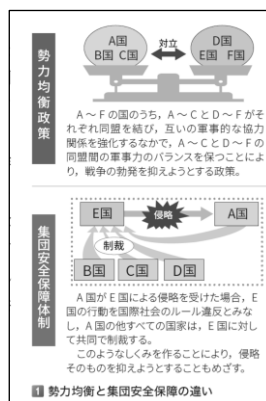
▲ 166, 167 ページ

▼ 193 ページ

第2編「現代の国際政治・経済」

- ▶ 第1章「現代の国際社会と政治」では、「国際社会の成立と国際法」「国際連合と国際協力」「国際社会の変遷と動向」「国際紛争と軍備管理」といった内容で構成しました。主権国家の成り立ちと国際社会の成立、国際法、国際連合や国際機関の役割、国際紛争と平和維持の取り組みなどについて事例を挙げながら、丁寧に解説しています。表や地図、写真を多く配置し、複雑な現代の国際社会のしくみを生徒が本文を読み進めていくなかで捉えられるようにしています。

▼ 181 ページ



▼ 193 ページ



- ▶ 第2章「現代の国際社会と経済」では、「国際経済のしくみ」「国際収支と為替」「国際協調と国際経済機関の役割」「グローバル化と国際経済」といった内容で構成しました。グローバル化が進展した現代の国際経済活動の基本概念やしくみなどの基礎的知識について、具体的事例を出しながらわかりやすく記述しました。

▼ 229 ページ



- ▶ 第3章「国際社会の諸課題」は、学習指導要領に則り、第2編のまとめとして位置づけて構成しました。第1章、第2章で学んだ見方・考え方にもとづき、持続可能な社会の形成が求められる現代において、国際社会の諸課題について多面的・多角的に探求させ、解決していく方法を考察する力を身に付けていくことができるように留意しました。

▶ 「1. グローバル化が進展する世界のリスクとはなにか？」では金融や感染症などのリスクを事例として提示し、「2. 難民問題に解決策はあるか?」、「3. 国際経済格差の是正に国際社会はどう取り組むか?」では本編で学んだ見方・考え方をさらに深め、国際社会の一員としてのあり方について自覚を深められるよう構成しました。「4. 技術革新は世界をどう変えたか?」では、近年登場したさまざまなデジタル技術を取り巻く民主主義や人権についての論点を整理し、「5. 地球環境を守る資源・エネルギー開発とは?」では国際社会の地球環境問題への取り組みについての現状の課題と将来の展望について探究できるようバランスよく記述しました。

3章 国際社会の諸課題

1. グローバル化する世界のリスクとはなにか?

危険社会という考えられている。危険社会の弊は存在せず。境界線(苦難・苦境など)で自分が消えた社会のこのエスニシティ(民族性)れてきたが、国境も

チェルノブイリ原発事故では、災害が国境線を超えることでも感染病が出るようになった新型コロナウイルス(COVID)すべての人々が共通に危険にさらされているという危機感をよ


■ 乗客が新型コロナウイルス感染症に感染したクルーズ船と、乗客を

感染症名	年	経路	人口への影響
ペスト(黒死病)	1348~1420年	シルクロード経由でヨーロッパに	死者数はヨーロッパの人口の1/3~1/2とされる
天然痘(アメリカ大陸)	16世紀~17世紀	大西洋を渡る経路	伝染と合わせて、先住民は2,600万人から100万人まで減少
コレラ	19世紀から現在	インドから各地に	不明
スペイン風邪	1918~1919年	アメリカ起源、中国起源など諸説あり。ただし、戦時体制に大西洋を渡ったとされる	3,000万人以上の死者
アジアインフルエンザ	1956~1957年	中国から世界に	100万人以上の死者
SARS	2002~2003年	中国から香港、台湾、カナダに	774人の死者
MERS	2012年以降	中東から韓国	654人の死者

■ 感染症とグローバル化(『通商白書 2020』)

事態宣言、ワクチンの調達などを見ると、ボーダレス化の時代であっても、なお主権国家が主権的な機能を担っていることが分かる。国により対応が異なっていることもよく知られている。

私たちは、リスクのグローバル化に対して、国際協調主義と一国ごとの政策のどちらが有効であるのか、2つの手段は



■ ヨーロッパでのロックダウン イタリアでは2月に北部で始まり、翌10日には全土に拡大した。(2020年、イタリア・ローマのスペイン広場)

▲ 232, 233 ページ

▼ 12, 54 ページ

生徒の興味・関心を喚起する多様な素材

▶ 本文を学ぶ前提として、また、本文の内容をさらに深める素材として、テーマページを設けました。「権利と義務を考える」「SDGs からみる日本のジェンダー平等」「国際社会と日本外交」「国際経済における日本の役割」など、各分野にまんべんなく配置し、生徒が興味・関心を持てるような問いを提示しました。

THEME 権利と義務を考える

権利と義務が衝突するとき/権利と義務/市民社会における権利と義務

権利と義務が 憲法は私たちの人権を (第26条)、勤労の義務 (第27条)、納税の

THEME SDGs からみる日本のジェンダー平等

政治とジェンダー平等/教育とジェンダー平等/私的領域でのジェンダー平等/SDGsとLGBTの人々

SDGsを提唱した国連「持続可能な開発のための2030アジェンダ」には「ジェンダー平等の実現と女性・女児のエンパワーメントは、すべての目標とターゲットにおける進展において革新的に重要な貢献をす

ジェンダー格差を無くす」とある。理系の女子学生や女性研究者をさす「リケジョ」という言葉があり、近年ではリケジョをめざす女子中高生を支援する大学等も多い。一方、2018年には複数の医大・

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1編 現代日本の政治・経済	A 現代日本における政治・経済の諸課題		49
第1章 現代政治のしくみと日本 1 政治とはなにか 2 法とはなにか テーマ 権利と義務を考える 3 現代民主政治へのあゆみと基本原理 4 議会制民主主義と世界の政治体制 5 日本国憲法の成立と基本原理 テーマ 憲法改正を考える 6 基本的人権と新しい人権 テーマ SDGs からみる日本のジェンダー平等 7 平和主義と安全保障 8 日本の政治機構 テーマ 行政の民主化を考える 9 政党政治と選挙制度 10 地方自治	(1) 現代日本の政治・経済	6~91 ページ	25

<p>第2章 現代経済のしくみと日本</p> <p>テーマ 経済とはなにか</p> <p>1 経済活動と経済主体</p> <p>2 市場経済の機能と限界</p> <p>テーマ 経済体制の変容と経済思想</p> <p>3 国民経済と景気変動</p> <p>4 物価とその変動</p> <p>5 金融のしくみとはたらき</p> <p>6 財政のしくみとはたらき</p> <p>7 日本経済のあゆみ</p> <p>8 企業の活動と役割</p> <p>9 労働問題と労働環境の変化</p> <p>10 社会保障制度の充実</p> <p>11 農業と食料問題</p> <p>テーマ 環境をめぐる問題</p>	(1) 現代日本の政治・経済	92~163 ページ	21
<p>第3章 現代日本の諸課題</p> <p>1 地域社会の自立と中央政府の役割とはなにか？</p> <p>2 持続可能な社会保障制度は実現できるか？</p> <p>3 多様な働き方ができる社会とはどのような社会か？</p> <p>4 安全・安心な社会を実現するには？</p> <p>5 歳入・歳出両面での財政健全化とは？</p>	(2) 現代日本における政治・経済の諸課題の探究	164~173 ページ	3
第2編 現代の国際政治・経済	B グローバル化する国際社会の諸課題		19
<p>第1章 現代の国際社会と政治</p> <p>1 国際社会の成立と国際法</p> <p>2 国際連合と国際協力</p> <p>3 国際社会の変遷と動向</p> <p>4 国際紛争と軍備管理</p> <p>テーマ 国際社会と日本外交</p>	(1) 現代の国際政治・経済	176~204 ページ	8
<p>第2章 現代の国際社会と経済</p> <p>1 国際経済のしくみ</p> <p>2 国際収支と為替</p> <p>3 国際協調と国際経済機関の役割</p> <p>4 グローバル化と国際経済</p> <p>テーマ 国際経済における日本の役割</p>		205~231 ページ	8
<p>第3章 国際社会の諸課題</p> <p>1 グローバル化する世界のリスクとはなにか？</p> <p>2 難民問題に解決策はあるか？</p> <p>3 国際経済格差の是正に国際社会はどう取り組むか？</p> <p>4 技術革新は世界をどう変えたか？</p> <p>5 地球環境を守る資源・エネルギー開発とは？</p>	(2) グローバル化する国際社会の諸課題の探究	232~241 ページ	3
		合計	68